

# 菅 強権政治 仕掛け人

## 氏 官房長官時代の7年8カ月



「官邸強権政治」はここまで来たか— 科学者まで意のままにしようとする日本学術会

議への人事介入問題。安倍政権の7年8カ月、菅官房長官は「裏の強権仕掛け人」でした。

### 安保法制の先導役

官房長官は内閣の要。悪政の共同の責任者です。集団的自衛権容認、安保法制強行ではその先導役。当時の法制局長官が集団的自衛権容認の憲法解釈に異を唱え、菅氏は「非常に違和感を感じる」と攻撃、容認派への首すげ替えを進めました。



©カクサン部

### 数々の疑惑隠し

疑惑もみ消しの張本人。安倍前首相の盟友が理事長の「加計学園」の新学部開設を早めるよう圧力を加えた問題では、批判した前川喜平元文部科学事務次官に人格攻撃。「桜を見る会」では、招待者取りまとめの責任者ですが再調査を拒否しています。

### 沖縄の民意圧殺

安倍前政権の民意圧殺の最たるものは、沖縄・辺野古新基地建設。その司令塔が菅氏。「沖縄基地負担軽減担当相」として工事を指揮。県民が選挙で何度新基地ノーの圧倒的民意を示しても「(工事を) 粛々と進める」と繰り返してきました。



### 人事・メディア支配

官僚支配の組織・内閣人事局が設置(14年)されるとその中心に。官房長官会見での「東京」・望月衣塑子記者への質問封じを行い、NHK「クローズアップ現代」キャスター、テレビ朝日「報道ステーション」コメンテーター降板でも関わりが指摘。

折り目

## 「学問の自由」脅かす重大事態

# 菅首相 学術会議 任命拒否

日本学術会議の人事への菅首相の介入が大問題になっています。日本の科学者を代表する機関である学術会議が新会員候補として105人を推薦したのに対し、菅首相が6人の任命を拒否しました。これまで一度もなかったこと。違憲・違法な拒否は撤回し、6人全員を任命すべきです。

# 政治介入を撤回せよ



学術会議総会 10月1日、東京都内(日本共産党ホームページより)

任命拒否された6人は、安保法制や共謀罪、辺野古基地建設などに反対を表明してきた学者。それを理由に任命拒否したのなら、憲法第23条が保障する「学問の自由」を侵害する極めて重大な事態です。

改定した際、政府は首相の任命は「形式的」と明記する文書を作成、これに基づき中曾根首相(当時)は「政府が行うのは形式的任命に過ぎません」と答弁していました。実質的には首相に任命権はなく、任命拒否が違法であることは明らかです。

### 首相の任命は「形式的」

政府は、任命拒否は「適切な対応」としていますが、1983年に日本学術会議法を

## 日本共産党

制度解説

衆院選挙  
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます  
小選挙区は「候補者の名前」で

衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。

近畿民報

2020年10月 No.3(第433号)  
発行/日本共産党国会議員団  
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号  
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115  
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を  
発表しました。

新型コロナから

日本共産党が  
緊急申し入れ

# 命とくらし守り 経済を立て直す対策を

消費税  
緊急に5%へ減税を

- ① コロナ感染拡大防止の最重要課題として、検査と医療を抜本拡充する
- ② 雇用と事業を維持し、経済を持続可能にする政策を——コロナ危機を倒産と失業の悪循環に陥る恐慌にはならない
- ③ 未来を担う子どもと学生に、学びを保障し、生活を支える支援を

共産党の志位和夫委員長は2日、菅首相あてに新型コロナ対策の緊急申し入れ（上）を行いました（写真）。コロナ禍の下、暮らしと経済への緊急対策としてまとめたものです。

志位氏は「政府は感染防止と経済活動の両立というが、最大のカギは検査と医療の拡充」とし、感染震源地への網羅的検査やクラスターが発生すると多大な影響が出る医療機関などの検査を行うことを要求。検査を



全額国費負担とすることや危機的な病院経営への減収補てんを求めました。

志位氏は、中小企業などを支援する持続化給付金をコロナ収束まで継続すること、地域や業種別の実情を踏まえた支援の創設も提案、消費税を緊急に5%にすることを求めました。

共産党を含む  
新たな政権を



共産党  
志位 委員長

テレビ番組で



立憲民主党  
小沢 衆院議員

「次の次」ではダメ  
次の総選挙で

## 「政権奪取宣言」

「次の総選挙で政権交代を」  
一。日本共産党の志位和夫委員長と立憲民主党の小沢一郎衆院議員がテレビ番組（BS-TBS、9月24日）で“政権奪取宣言”を行いました。

小沢氏「野党は次の総選挙で政権を取り、われわれの主張を実現する。『次の次の選挙でもいい』ということでは国民は受け入れない」

志位氏「野党として、次の総

選挙で政権交代を実現する。その本気度を示してこそ国民は真剣に耳を傾けてくれる」

志位氏は「本気度」を伝えるカギとして①野党として今度の選挙で政権を取ると宣言する②共産党を含めて新しい政権をつくと宣言する——をあげました。

国民の期待にこたえ、今こそともに政権をつくる決断をすべきです。

## 田原総一郎氏「絶対、連立政権つくって」

『週刊朝日』（10月9日号）に、共産党・志位委員長とジャーナリストの田原総一郎氏との対談記事が掲載されています。野党共闘の現状などに

志位氏と対談  
『週刊朝日』で

ついて語った中で田原氏は「野党の中で一番柔軟性を持っているのは志位さん」「絶対（共産含む）連立政権を作ってほしい」と述べています。